



↑
砂丘頂部

砂丘頂部から内陸に広がるカシワ主体の海岸林（色の濃い部分）。
海から海岸林までの間は、ハマナスなどが茂る海岸草原（左上の白く見えるのは波）。

北のイタヤと南のカシワ

変化に富む石狩の海岸風景

昨年10月から、石狩市の海岸線は約80kmとなり、道内有数の長い海岸線を持つまちとなりました。旧石狩市の海岸線は、石狩川から運ばれた砂が積もつてできた砂丘海岸でしたが、北部の厚田区厚田以北の海岸は、暑寒別・樺戸山地が海に削られてできた断崖海岸となります。地形がこれだけ違えば、生えている植物ももちろん違います。

では、それぞれの海岸風景に欠かせない海岸林に着目してみましょう。砂丘海岸（いわゆる石狩浜）では、砂丘の頂部から陸側にカシワ主体の海岸林が見られます（写真1）。一方、断崖海岸では、断崖斜面の上方にイタヤカエデ主体の海岸林が見られます（写真2）。

なぜ、カシワは断崖海岸では見られないのでしょうか。それは、カシワが急峻で地表面が不安定な環境では育つことができず、平坦地や地表面が比較的安定した環境を好むためと考えられています。イタヤカエデは、急斜面



▲イタヤカエデ
紅葉の時期、山を黄色に彩る木。
実はプロペラ型。
葉はカエルの手の形に似る。



▲カシワ
冬も枯葉を付けている木。
実はドングリ。
かしわもちを包む葉で親しみ深い。

海岸林だけでなく、海辺の植物の種類も北と南で大きく異なります。このような違いにも着目して、長くなつた石狩の海岸に親しんでいきたいですね。
(内藤華子)

※不定根 本来の根以外の部位から出る根。
折れた幹枝などから出る。

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711
✉i-museum@bz01.plala.or.jp
■石狩浜海浜植物保護センター ☎72-3240
✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

断がい上方に見える林が
イタヤカエデ主体の海岸林

◀写真2：浜益の断崖海岸